

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和6年度高山工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月31日(金) 13:15~15:10
*13:20~13:45 3年生各学科の「卒業生と語る会」の授業を参観
- 3 開催場所 高山工業高等学校 校長室
- 4 参加者
(敬称略) 会長 西田 裕一 高山工業高等学校 育友会長
副会長 見山 政克 高山市教育委員会 教育長
委員 牛丸 勝 高山市立日枝中学校 校長
多田 仁 高山市立花里小学校 校長
小林 慎作 千島町内会副会長
中田 和子 高山商工会議所 女性会 会長
岡田 明子 飛騨木工連合会理事理事
飛騨産業株式会社 代表取締役社長

学校側 岩島 義則 校長
渡辺 圭子 教頭
三田 真弓 事務長
大坪 博孝 教務主任
高橋 佑介 生徒指導主事
新家 邦男 進路指導主事
門前 雅人 工業部長

5 会議の概要

[承認事項]

- (1) 会長、副会長の選出について
委員より承認が得られた。
- (2) 「指導の重点及び学校経営計画」「学校運営機構」「教育課程編成」について
校長・教頭より説明。委員より承認が得られた。

[協議事項]

- (1) 「指導の重点と自己評価」について
学校長、及び教務主任、生徒指導主事、進路指導部長、工業部長より説明。
意見1：スタディーサプリとは具体的にどのようなものか。(→教務部)
⇒授業をサポートしていく動画と問題、その解説を含めたアプリ。長期休暇明けには到達度テストを行い、学力の変化を個人個人で測ることができる。

- 意見2：スタディーサプリは理解できていない部分を基礎に戻って復習できる教材と聞いた。高校でそこまでやっていただいていることに感謝する。（→教務部）
- 意見3：違いのある仲間を互いに認めあう力をつけていきたいという課題は、小学生段階から持っている。なお、小・高合同であいさつ運動を実施する中で、高校生の気持ちの良い挨拶の仕方が小学生のあこがれとなっているようにも感じている。（→生徒支援）
- 意見4：目標を具体的な数値で表すことはできないか。（→生徒支援）
⇒生徒支援部においてはおそらく、数値で評価できることが少ないのではないかと感じている。しかし、皆が共通で認識できる成果と言うものもあったほうがよく、今年度しっかりと検討していきたい。
⇒生徒・保護者アンケートも毎年とっている。その評価の結果についてお示ししたい。
- 意見5：地元に残っていただくことが非常に重要で切実な問題である。学校側は企業見学会等を積極的に行ってほしい。我々企業も協力を惜しまない。また、本日参観した「卒業生と語る会」の話者は地元企業が少なかったように思い、心配になった。地元就職率はどのくらいか。（→進路支援）
⇒年によって変わるが、昨年度の卒業生の地元就職率は67%であった。
- 意見6：プレゼン力をつけることも大切。中学校ではその取り組みを行っている。（→進路支援）
- 意見7：地域との連携という意味で、我々木工連は毎年10月にイベントを開催し、工業高校の生徒さんにご協力いただいている。その他も国民文化祭関連で連携出来たらと考えている。具体的になったら案内をする。ご一緒できたら有難い。（→工業部）
- 意見8：今、人手不足で、高山市内の企業は人手がないために事業を縮小せざるを得ない状況にある。工業高校で学んだ生徒達がいずれ高山に戻ってその発展に携わっていただくことを切に願う。企業側としても給与面、福利厚生面、働き甲斐や働く楽しみの創出等、企業努力を重ねていきたい。（→工業部）

(2) 「スクールミッション」について

○ 本校に期待される社会的役割について

- 意見9：飛騨の地場産業と伝統工芸を支える学校であってほしい。また、義務教育の学校に対してICT等の技術を発信し連携を行う学校であってほしい。
- 意見10：学力の面は非常に重要なこと。またそれ以上に人間性が大切。高山工業は「人間性あふれ、日本の将来を背負っていける生徒が育つ学校。」であってほしい。
- 意見11：地域の将来を担うことが、非常に大切な本校に課されている役割である。
- 意見12：「真摯」で「誠実」であり、ものづくりに手を抜かない生徒を育てる学校であってほしい。
- 意見13：「他から信頼される生徒を育てる人間形成の場」でありたい。

※上記を参考に、学校内でスクールミッション（案）を考え、第2回学校運営協議会ではその案に関して意見交換を行う。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会において会長、副会長が選出され、「指導の重点及び学校経営計画」「学校運営機構」「教育課程編成」について全委員より承認が得られた。また「指導の重点と自己評価」について頂いた課題や視点は、今後の分掌運営に積極的に活かしていく。会の最後に「本校に期待される社会的役割」についてお話を頂いた。聞き進める中で、地域からの期待の重みがひしひしと伝わり、責任を痛感させられた。

第2回の協議会では「スクールミッション案」を協議する予定である。